

令和 6 年度
「地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業」

第1回
20240926

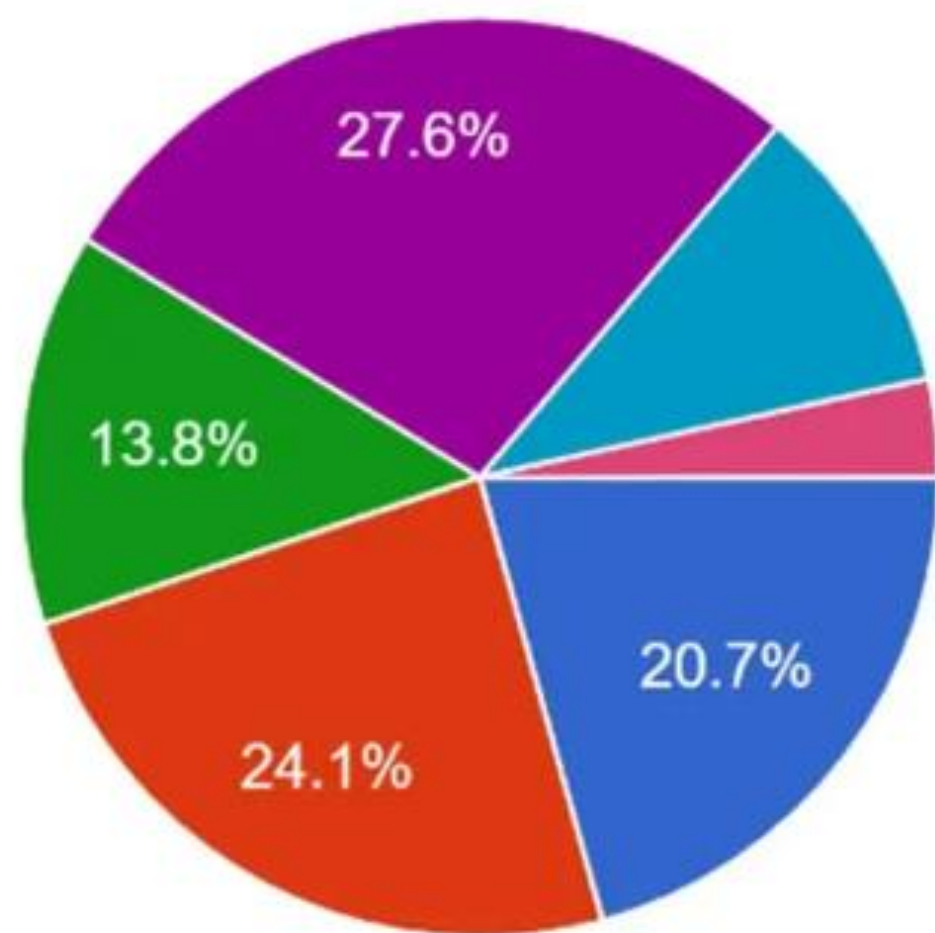
昨年度の研修動画・教材

<https://www.miyahara.vc>

「地域医療」

研修受講者40名に訊きました(回答 29)

実際に手を染めてみて、どこが難しかった？



● 真の問題点（課題）の抽出・分析の要求項目の提出

● 課題解決のためのドンピシャな情報へのアクセス

● 情報の収集

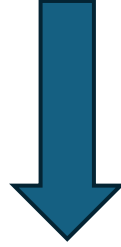
● 収集した情報の客観的（批判的）吟味

● データの加工・可視化、情報の正しい使用

● 作成したグラフを見て、問題解決への...

● 真の問題点（課題）の抽出

地域の医療課題・問題



ここがわからん

データ分析

分析結果

解決・改善

情報活用の目的 = **問題解決・課題解決**

 = **医療課題の解決**

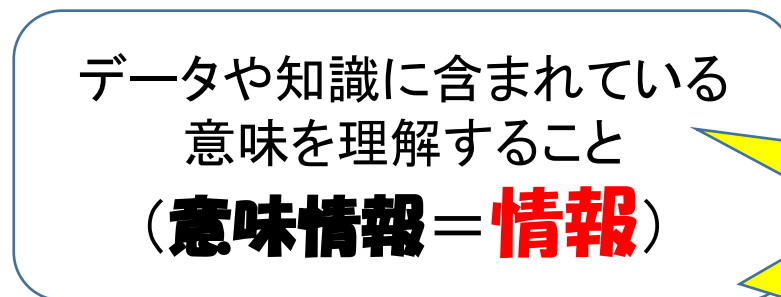
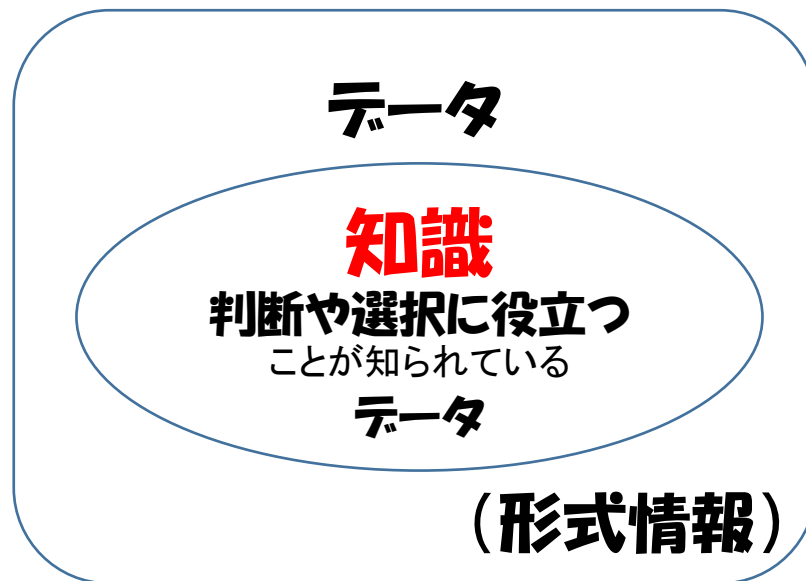
情報活用の方法 → **ANZILの情報リテラシーのフレームワーク**

- 1) 真の問題点の抽出
- 2) 情報へのアクセス
- 3) 情報収集
- 4) 情報の批判的評価
- 5) 情報の使用

似たような言葉

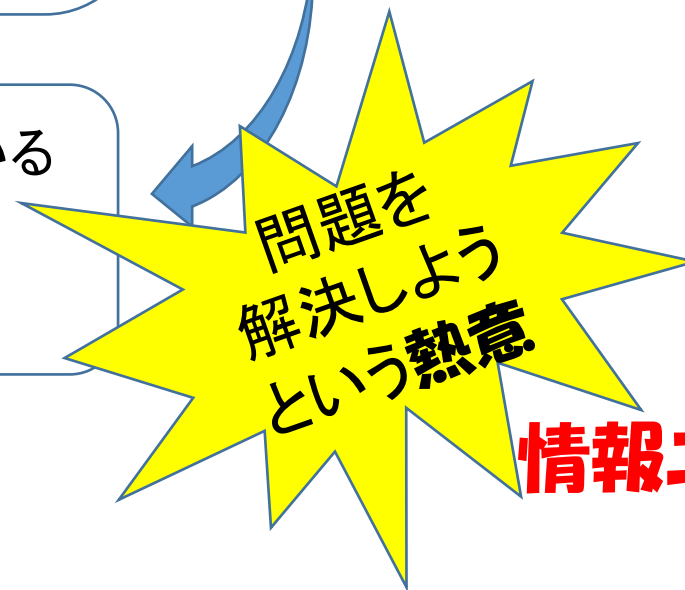
データ 情報

マクドノウは、情報を「**特定の状況における価値が評価されたデータ**」と定義しています。すなわち、「**データ**」とは単なる**数値などの集まり**であり、**何らかの価値観・基準・目的を意識することにより「情報」となる**。データ解析の基本的な役割は、**データから情報を取り出すこと**。



読み取る力
知的能力(**知能**)

This text is positioned to the right of the top diagram, with a blue arrow pointing from the '知識' (Knowledge) oval towards it.



情報ニーズの発生

This text is positioned to the right of the starburst graphic.

ピースがはまる

This text is positioned to the left of the '問題解決' (Problem Solving) text.

問題解決

This is the central text at the bottom of the diagram, with a blue arrow pointing down to it from the diagram above.

読み ・ 書き ・ そろばん

読み ・ 書き ・ 電卓

読み ・ 書き ・ 電卓



AI



AI

ChatGPT



パソコン

情報活用
生きる知恵

課題・問題を解決したい

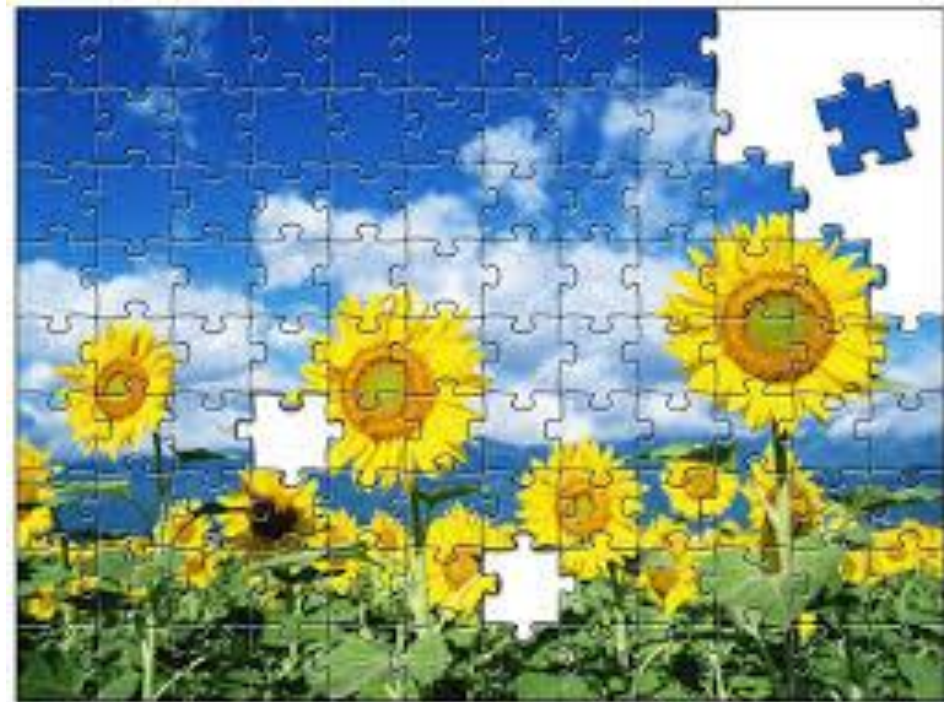


情報ニーズの発生

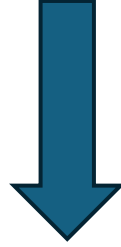
情報ニーズ は、欠けたジグソーパズルのピースに似ている



“そのデータ・知識が欲しい！”
“そのデータ・知識はどこにある？”



地域の医療課題・問題



ここがわからん

データ分析

分析結果

解決・改善

情報活用の目的 = **問題解決・課題解決**

 = **医療課題の解決**

情報活用の方法 → **ANZILの情報リテラシーのフレームワーク**

- 1) **真の問題点の抽出**
- 2) **情報へのアクセス**
- 3) 情報収集
- 4) 情報の批判的評価
- 5) 情報の使用

ヒトは物事を考える時には「言葉」で考えている

医療課題や問題を解決しようとする時にも「言葉」で考えている

課題解決・問題解決を行うときは、特に**単語を正確**に使う

いい加減な言葉、その場しのぎの表現

思考停止
考えているふり
無責任

本気で患者さんのこと、住民のことを考えているか？
本気で課題・問題を解決しようとしているか？

言葉をあいまいに使わない！

うわべだけ適当に取り繕ったような言葉は使わない

この言葉の違い、知っていますか？

目標 と 目的

結果 と 結論

この言葉の違い、知っていますか？

目標 と 目的

Milestone Goal

結果 と 結論

Output Outcome

この言葉の違い、知ってますか？

うれしい と 楽しい

お誕生日にプレゼントをもらったら・・・

モグラたたきでモグラを次々叩いたら・・・

よくできたね、と褒めてもらったら・・・

最新のゲームソフトをもらったら・・・

そのゲームソフトで遊んだら・・・

他人から**もらう**と **うれしい**

自分で手を使って**行う**と **楽しい**

他人から**もらう**と **うれしい**

自分で**手を使って行う**と **楽しい**

この研修 教えてもらって**うれしい**

自分で手を染めて 楽しんでください

1. データ分析の「目的」～地域の解決すべき医療問題・課題はなに？
 - 1.1 「目的」とは
 - 1.2 地域の医療課題の解決という「目的」をどう表現するか
2. 解決すべき問題の明確化の方法と、それに用いるツール（道具）の使い方
 - 2.1 言葉や用語は正確に、定義された意味で使用する
 - 2.2 ロジック分析
 - 2.2.1 ロジックツリー
 - 2.2.2 フィッシュボーンチャート
 - 2.3 作業分解
 - 2.3.1 DMM(Diamond Mandala Matrix)
 - 2.3.2 WBS(Work Breakdown Structure)
 - 2.3.3 WBSからガントチャート(Gantt Chart)の作成
3. 真の問題点に対してドンピシャなデータを探す
 - 3.1 重要・頻用データURL集の作成・共有
 - 3.2 データ項目を読もう
 - 3.3 データ項目を理解するために必要な基礎知識と最新知識
4. データの収集と吟味・保管
 - 4.1 データの出所、エビデンスレベル
 - 4.2 さっと取り出せるデータの保管・管理法
 - 4.3 データ自体の生い立ちと品質の理解
5. データの加工・分析・可視化（**令和5年度の当事業の研修で用いたテキスト**）
6. データを用いた問題解決（知恵の使い方）
 - 6.1 分析結果を見て問題解決のシナリオ（ストーリー）を組み立てる。
 - 6.2 ストーリー（論理展開）に隙間はないか？の検証法
7. 結論：データ分析の目的を達成したか？
 - ・分析目的と分析結果、結論との呼応・整合性

集合研修

K-J 法 （川喜田二郎法）

ブレインストーミングしたものを、並べたりグループ化したりすることで、問題解決や新たな発見につなげる

ロジックツリー

因果関係（原因）を追及し真の問題点を抽出

フィッシュボーン

要因を抽出し、関連を見出す

DMM・作業分解・ガントチャート

解決を成し遂げるための計画手法

